学校番号	１２０１

令和８年度　情報科

教科	専 情報	科目	（学）プログラミング入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	micro-bit						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

micro-bit とドリトルという教育用プログラミングツールを用いて、プログラミングの基本的な学習から発展的な内容を学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
プログラミングの基礎を理解し、実際にプログラムを作成・修正できる。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的な思考力を用いて、問題解決のためのアルゴリズムを設計し、他者にわかりやすく表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
学習意欲を持ち、チームで協力し、自己改善に向けた姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・問題解決するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法について理解している ・課題を解決する為の適切で正確な技術を身につけている。	・問題解決に向けて適切かつ効果的な判断を行っている ・順序立てて論理的に思考している	・主体的にプログラミング学習に取り組み、知識・技術を身につけようとしている ・授業で学んだ知識・技術を積極的に活用し更に改善しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アルゴリズム	アルゴリズムとは 良いアルゴリズム 良くないアルゴリズム	a:アルゴリズムについて理解している b:アルゴリズムの評価について適切に判断できる c：アルゴリズムに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている c:アルゴリズムの評価・改善が行える	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ(技術判断)	応用課題 提出データ(応用性判断)	実習観察 授業態度 質疑応答
2学期	プログラミング	順次処理 変数 配列 繰り返し処理	a:プログラミングの３要素について理解している b:順序だてた論理的な思考を行うことができる b:課題を解決する為の正確なアルゴリズムの組み立てができる c: プログラミングの基礎に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ(技術判断)	応用課題 提出データ(応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答
2学期	プログラミング	関数 真偽値 分岐処理	a:プログラミングに必要な知識が身についている b:課題に応じて解決する為の適切な思考を行うことができる b:与えられた課題を適切に達成することができる c: プログラミングに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ(技術判断)	応用課題 提出データ(応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答
3学期	プログラミング	否定 比較 返り値 イベント	a:プログラミングに必要な知識が身についている b:課題に応じて解決する為の適切な思考を行うことができる b:与えられた課題を適切に達成することができる c:プログラミングに興味をもち､学習に積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ(技術判断)	応用課題 提出データ(応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度